

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成24年 7月 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都渋谷区神宮前6-26-1		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） キリンビバレッジ株式会社 代表取締役社長 首藤 由憲
環境マネジメントシステムの名称	キリンビバレッジ環境マニュアル (JISQ14001:2004(ISO14001:2004))	
適用範囲	キリンビバレッジ株式会社 本社・湘南工場・舞鶴工場	
導入年月日	1999年 9月22日	
認証番号	JMAQA・E061 (ISO14001)	
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 「キリングループ環境方針」との整合性を有する。 組織の活動、製品及びサービスの性質、規模、及び環境影響に対して適切である。 継続的改善及び汚染の予防に関するコミットメントを含む。 組織の環境側面に関連して適用可能な法的要求事項及び組織が同意するその他の要求事項を順守するコミットメントを含む。 環境目標の設定及びレビューのための枠組みを与える。 環境方針を一般の人が入手可能にする。 	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ol style="list-style-type: none"> 省エネルギーの推進（2011年度環境目標） 目標：電力原単位 54.8 kWh/k1以下 燃料原単位 20.8 kg/k1以下 CO2 81.8 kg/k1以下 公害防止対策の強化 目標：市公害防止協定違反なし、かつ環境事故度数ゼロ 環境教育の推進 目標：環境教育の実施2回以上 	
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 省エネルギー（CO2削減） ユーティリティー会議（1回/週）で評価・解析 省エネ会議（不定期）で省エネ推進 公害防止対策 環境委員会（1回/月）で評価 環境教育 環境研修（2回/年） コンプライアンス研修（1回/年） 	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 省エネルギー（'11年4月～'12年3月） 実績：電力原単位 54.1 kWh/k1 燃料原単位 21.9 kg/k1 CO2 75.0 kg/k1 公害防止対策の強化 実績：市公害防止協定違反なし、環境事故度数ゼロ 環境教育 環境研修2回実施（流出事故防止各班2回/年 7～12月） コンプライアンス研修（10月実施） 	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ol style="list-style-type: none"> 省エネルギー 電力原単位：空調機の更新等省エネにより達成できた。 燃料原単位：震災等の影響により運休となったこと、少量多品種化、蒸気使用量の多い品種の増加等により未達成となった。 CO2：レトルト殺菌釜等の更新により達成できた。 公害防止対策の強化 当初計画通り取り組むことができています。 環境教育 当初計画通り実施できています。 	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<ol style="list-style-type: none"> 環境関連法規、規制、協定等を順守し、違反・指摘なし。 環境に関する法規制等のチェックリストにより1回/年確認・評価を行う。 	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>工場長は、環境マネジメントシステムの適合性及び有効性の確保・継続のため、以下の通り、年度の振り返りを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①内部監査の結果、レビューが必要とされる場合。 ②環境に関する重大な問題が生じた場合。 ③環境に関する新しい業務が導入された場合。 ④関連する利害関係者により環境に関して要求事項が生じた場合。 ⑤上記①から④に該当しない場合も前回のレビューから1年以内に実施する。 	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。